

セーフティノーツ

free*spee 式 2.0 スピードバーに関して

この勧告は、モデル名が free*spee と呼ばれる、バーのアクセルラインとの結合部にステンレスのチャンネル使って製造されたおよそ 50 個のスピードバーに適用される（写真 1 参照）。このバージョンのスピードバーは free*spee GbR 社により 2009 年 10 月に、主に Tegelberg の Free Flight トレード・フェアにおいてのみ販売された。



写真 1

free*spee の他の全てのモデルは、ステンレス製チャンネルを使用せずに製造されており、この勧告の対象ではない。

スピードバーに取り付けられたステンレス製チャンネルに、製造後も鋭い端面が残っていた可能性がある。これがアクセルラインの摩耗を促進し、早い破損をもたらした。

free*spee GbR 社は、次の安全勧告を発行した：

free*spee GbR 社は、上記スピードバーを使用している全てのパイロットにアクセルラインの摩耗をチェックするよう勧告する。ラインが破損していた場合は、スピードバーを交換しなければならない。ステンレス製チャンネルに鋭い端面が存在していたときは、同様にスピードバーを交換しなければならない。

free*spee GbR 社は、全てのパイロットにこのモデルのスピードバーを他のものに交換することを勧告する。

free*spee GbR 社は、交換を無償で提供する。

Neuenrade, 2009 年 12 月 4 日

Free*spee GbR

Andreas Raphael. Claudius Schulte

Im Duda 2

58809 Neuenrade

Tel:02392-962 766

Fax:02392-808 196

Mobil:0177-935 1198

info@free-spee.com

www.free-spee.com